グローバルヘルス研究院の教育理念・目標

グローバルヘルス研究院では、学際的な教育・研究を通して、人間社会と地球･生態系の共存を主要な課題とするプラネタリーヘルスの実現に貢献できる人材の養成を目的としています。この目的のために本研究院の公衆衛生学博士 Doctor of Public Health プログラムでは、プラネタリーヘルスの中核となる地球規模での公衆衛生に関わる科学、政策および実践を橋渡しできるプロフェッショナル人材を養成します。

グローバルヘルス研究院のディプロマ・ポリシー

Doctor of Public Health (DrPH) プログラムでは、必要な単位を修得し、政策提案等をテーマとして博士論文（プロジェクト論文）を作成し、最終試験に合格することを学位授与の要件とします。この学位は、以下に示すように、グローバルヘルス領域においてリーダーシップを発揮し、政策を提案、実行、評価し、地球上の公衆衛生の向上に貢献できる人材に授与します。

1. 保健政策の立案・実行・評価計画を作成することができる。
2. 保健政策の関係者（ステークホルダー）を組織することができる。
3. 保健政策の運営に必要な事項を説明することができる。
4. 過去、現在、将来の保健政策についてその背景、目的、運営方法、ビジョンを説明することができる。

グローバルヘルス研究院のカリキュラム・ポリシー

グローバルヘルス領域の政策立案や計画の実行､評価に必要な知識やスキルを修得します。

1. プラネタリーヘルスの概要の理解
   a. 人類の健康と文明、地球自然環境の関連性についての知識
   b. プラネタリーヘルスが保健政策に与える示唆の理解

2. 保健政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得
   a. 政策過程や実装科学の理論的な理解
   b. 保健システムの分析と提言導出能力
   c. 政策立案・評価に使われるデータ分析法の理解

3. リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得
   a. 組織マネジメント能力
   b. 交渉・コミュニケーション能力
   c. グローバルヘルスガバナンスに関する知識

4. プロジェクト演習
   a. 保健政策に関わるプロジェクトを提案し、実行する能力
   b. 博士論文（プロジェクト論文）を執筆する能力

5. 学修の到達度は、レポート及び筆記試験、論文の質やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて評価します。

科目に関する別表

資質等＼科目等		プラネタリーヘルス	政策とシステム	データと分析	リーダーシップとマネジメント	実習科目
主として養われる資質	プラネタリーヘルスの概要の理解	・プラネタリーヘルス特論				
	保健政策の立案・実行・評価に必要な洞察力や分析スキルの修得		・政策過程特論 ・実装科学特論 ・保健システム特論 ・医療経済学	・量的政策評価法		
	リーダーシップ・マネジメントに関するスキルの修得				・組織マネジメント特論 ・渉外マネジメント特論 ・グローバルヘルスガバナンス特論 ・保健外交	
	プロジェクト演習					・公衆衛生問題解決演習 ・実務研修 ・DrPHプロジェクト

グローバルヘルス研究院のアドミッション・ポリシー

入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 公衆衛生又はその関連分野（＊）において，研究・実践能力を修得するために必要な基礎知識及び技術，論理的な思考能力を有する。
2. 課題解決に向けてリーダーシップを発揮できる素養，協調性，コミュニケーション能力を備えており，公衆衛生の向上に貢献しようとする向学心を有する。
3. 保健政策の形成や実践を前進させることに強い意欲及び明確なビジョンを有する。

（＊）関連分野として公衆衛生のほか，保健医療，健康科学，自然環境，社会開発，平和構築，国際協力，公共政策，組織経営など幅広い分野を考慮する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重:◎,大きい比重:○））

求める資質 / 入試区分		基礎知識 技術 論理的思考	リーダーシップ 協調性 コミュニケーション能力	モチベーション 明確なビジョン
一般入試	出願書類 志望理由書	◎	○	◎
	外国語検定試験	○		
	面接	○	◎	